

きみたちがどんな大人になってほしいかが示されているんだね

教育基本理念(要旨)

わたしたちは、身近な家族や学校、地域の中で人間関係を築き、世代を超えて人の営みをつないでいきます。その中で、教育は「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」を育み、生涯を通じて学び、成長し続けるための基盤であり、「生きる力」を養うものです。

21世紀の国際化が進む厳しい現代社会の中で、たくましく生き抜くためには、健康と体力を保持し、自らの課題を見つめ、学びと考えを深める中で、主体的に判断・行動していく力が必要です。また、自己を認め、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性をもって、人とつながる力を身に付けていくことが大切です。

そのために、学校では、人格の完成を理想とした質の高い教育を目指し、次世代を担う子どもたちが、常に向上心に燃え、志高く努力を重ね、「つなぐ力」が身に付くよう、育成していかねばなりません。さらに、学校・家庭・地域がつながり、すべての市民の資質や能力の向上が図られるよう、学習機会を充実させ、まち全体で人を育む「つなぐ力」を培わなければなりません。

「あなたとわたし」の点

と線から、「学校・家庭・地域」の面へ広がり、過去から未来へと時を超えて、笑顔があふれる生き生きとした津山らしい社会が実現することを願います。



教育長 原田良一

みんな、自分の目標に向かってがんばろう！



津山市教育振興基本計画第2期が掲げる目標(要旨)

個の確立とつなぐ力を育む(幼児・学校教育)

- 確かな学力と豊かな心、健やかな体を育み、郷土の自然、歴史、文化、産業など、津山の特色を生かした教育を進めます
- 子どもたち一人ひとりの個性を伸ばし、教育的ニーズに応じた、安全で質の高い教育環境の充実を図ります
- グローバルな視野に立ち、広く社会に貢献できる人材を育成します



身近な人々のつなぐ力を育む(家庭・地域教育)

- 家庭で基本的な生活習慣が身につくよう、規範意識が醸成されるよう、家庭教育の支援と学習機会の充実を図ります
- 地域間で連携を深め、青少年の自立と社会性を育成する活動を推進します
- 高等教育機関や民間企業と協働し、子どもたちや市民が新しい知識や技術を学ぶ機会を提供します



過去から現在、未来へつなぐ力を育む(生涯学習の推進・スポーツ・文化・歴史)

- すべての市民が生涯にわたり資質や能力の向上を目指し、自主的に学習できる機会と場を提供します
- 郷土が育んできた文化や伝統を保存・継承し、歴史や先人の偉業を学習することで、ふるさとへの誇りと愛着を育みます
- 生涯スポーツを振興し、健康で潤いのある生活を推進します



特集

“つなぐ力を育む”

～あなたとわたし、学校・家庭・地域、そして世代を超えて～

津山市教育振興基本計画第2期

実施年度：平成29～33年度

教えて! げんぽくん

“つなぐ力”ってなあに?

つなぐ力とは、家庭や学校、地域が一体となって子どもたちを育み、過去から未来に歴史をつなげていく力のことなんだ。

さらに、つなぐ力は、ぼくたちが学校などで学んだ成果を広く社会に結びつけていく力でもあるんだ。

社会は今、どんどんグローバル化(国際化)が進んでいる。このような現代社会を生き抜いていくためにも、さまざまな人と分かり合い・協力していく「つなぐ力」が必要なんだよ。



学力向上シンボルキャラクター げんぽくん

友だちやまわりの人と協力しながら生きていくことが大切なんだよ

市では、平成24年2月に津山市教育振興基本計画を策定し、平成24年度から10年間を見通して「つなぐ力を育む」あなたとわたし、学校・家庭・地域、そして世代を超えて」を教育基本理念とし、目指す人づくりや教育基本目標を掲げて、教育の向上に取り組んでいます。

このたび、5年間の第1期計画の満了に伴い、新たに「津山市教育振興基本計画第2期」を策定しました。

この計画では、第1期計画で設定した津山市が目指す教育の基本理念と目標を継承しつつ、未来を担う子どもたちの育成を図り、豊かな自然環境や歴史・文化遺産などの教育資産を生かした津山市ならではの教育施策を推進するため、平成29～33年度(5年間)に重点的に取り組む施策を示しています。この第2期計画について紹介します。

図教育総務課 ☎32・2112